

令和7年度 経営方針

1 校訓

自尊 自主 自立

2 学校教育目標

学校教育目標

学習指導要領に基づく適切な教育活動において、児童生徒一人一人の命と人権を尊重し、個々の教育的ニーズや発達段階等に応じたきめ細やかな指導によって生きる喜びを感じさせ、生涯を通じてより豊かに生活できるよう、次に掲げる目標の達成に努める。

- (1) 家庭生活、社会生活、職業生活を豊かに営むために必要な知識及び技能を習得させる。
- (2) 自分に誇りをもち、主体的に考え、自律的に判断し、よりよく生きるために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくむ。
- (3) 自分の力を最大限発揮し、社会参加するために必要な粘り強く学びに向かう力や豊かな心情をはぐくむ。
- (4) 障害による学習上又は生活上の困難さを主体的に改善しようとする意欲を高め、自立し社会参加するために必要な心身の調和的発達の基盤を培う。

めざす児童生徒像・めざす児童生徒育成のための基本方針

に	にこにこ笑顔	虹の原	「笑顔」「健康」
じ	じっくりチャレンジ	虹の原	「チャレンジ」「粘り強さ」
の	のびのび学ぶ	虹の原	「学び」「課題達成」
は	はきはきあいさつ	虹の原	「あいさつ」「主体性」
ら	らんらんなかよし	虹の原	「なかよく」「協力」

学校教育目標との関連	めざす児童生徒像	めざす児童生徒を育成するための基本方針
(1)	明るく健康で笑顔いっぱいの子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行とコミュニケーション能力を高める指導の充実 ・学校教育活動全体を通して体育・健康に関する指導の充実 ・食育の推進・安全に関する指導の充実 ・心身の健康の保持増進に関する指導の充実
(2)	自律心をもち主体的に行動する子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・「自律」に至る自己の調整能力を発揮するための発達を促す指導の充実 ・課題達成の喜びを存分に味わわせることのできる適切な課題の設定と指導方法の工夫
(3)	夢や願いの実現に向けて粘り強く取り組む子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で目標を決めたり、自己評価をしたりする指導の充実 ・自分が決めた目標に粘り強く取り組み、達成感を味わわせる指導の充実
	思いやりのある心豊かな子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育全体を通じた道徳教育の充実 ・お互いの良さを認め合い、自己の持ち味や良さに気付かせ、自己肯定感を高める指導の充実

(4)	障害による学習上 又は生活上の困難を 主体的に改善しよう とする子ども	・自立活動の時間の指導を要とし、学校教育全体を通した自立活動の指導の充実 ・自ら環境とかかわり合い、環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができる指導の充実
-----	--	--

めざす学校像
1 虹の原で学んでよかったと児童生徒、保護者が思う学校 2 虹の原に勤務してよかったと教職員が思う学校 3 地域に開かれた学校 ①障害のある児童生徒とその教育についての理解・啓発を行う学校 ②共生社会の実現に向けて積極的に情報発信する学校 ③地域における特別支援教育の充実・発展に向け、センター的機能を担う学校

めざす教職員像
1 『虹の原スピリッツ』を徹底し、その自覚と誇りをもって教育活動を展開する教職員 2 児童生徒の安心・安全を守る教職員 3 人権を尊重し、常に児童生徒の模範となる教職員 4 児童生徒の可能性を最大限に伸ばすことのできる教職員 5 コンプライアンスの遵守を徹底する教職員 6 学び続ける教職員 7 組織的な対応を重視する教職員 8 関係機関と連携や協働を積極的にできる教職員

令和7年度学校経営（経営活動、教育活動）重点取組事項
<p>「学校教育目標」の達成と「めざす児童生徒像」の実現に向け、令和7年度の重点取組事項を「経営活動の重点」と「教育活動の重点」に整理し、主として前者は組織をマネジメントする管理職や主任等が、後者は児童生徒の指導に携わる教職員が取り組むものとする。具体的には、各重点取組事項に示す行動計画に則って職務を遂行するものとする。</p>
<p>1 経営活動の重点 ○＝行動計画</p> <p>(1) 自立活動の指導力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実態把握から具体的な指導内容の設定に至る手続きや手続き間をつなぐ要点の理解促進 <p>(2) 小・中・高一貫した教育課程の編成と系統性のある指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生活単元学習の単元計画・評価シートを活用した教育課程の評価・改善と授業改善の研究推進 ○ 各教科等の指導における ICT の効果的な活用の促進 <p>(3) 中高一貫したキャリア教育の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学部における高等部作業体験学習や高等部実習報告会参加を実施し、キャリア全体計画における中学部のねらいや取組の位置づけの整理 <p>(4) 児童生徒の特性に配慮した個別最適な学びの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自閉症児への指導に関する研修の充実と専門性の向上 <p>(5) 体罰や不適切な指導、事故や事件の根絶に向けた指導の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的なコンプライアンス研修やリスクに関する情報交換の場を充実 ○ 「不祥事0」、「交通事故0」、「ハラスメント0」の促進 <p>(6) 関係学校及び関係機関との連携・連帯体制を図り、特色ある教育活動の充実・発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 設置校との合同学習及び地域の他の特別支援学校との交流及び共同学習の推進 ○ 地域人材の開拓及び連携の推進 ○ センター的機能と地域の特別支援教育の充実・発展の促進 <p>(7) 就労・生活支援に向けた取組の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 障害者雇用推進のための壱岐市内の企業等との連携の促進 ○ 進路実現に向けた就労体験実習先の開拓及び定着支援のための福祉事業所との連携強化 ○ 高等部卒業後の生活や進路について関心を高めるための保護者への理解啓発

- (8) 積極的な情報発信による、本校教育の広報及び理解・啓発の促進
 - 学校ホームページや学校通信など、本校教育の広報活動と魅力発信
- (9) P T Aとの連携の強化
 - 業務や研修の効率的・効果的な在り方についての検証
- (10) 分校開校10周年記念事業の実施
 - 10周年記念誌の発行

2 教育活動の重点 ○=行動計画

- (1) 自立活動の指導力向上
 - 実態把握から課題の整理（課題関連図）に至る手続きに関する教職員の力量形成
 - パワーアップシートの作成と活用、及び外部専門家の助言を踏まえた自立活動の専門性向上
 - 経年研の自立活動の研究授業による指導力向上
- (2) 小・中・高一貫した教育課程の編成と系統性のある指導の充実
 - 年間指導計画に基づく指導と学習評価の充実と、次年度年間指導計画の評価・改善と往還
 - 経年研の研究授業による教科の指導力向上
 - I C T機器の活用推進による各教科等の指導力向上
- (3) 中高一貫したキャリア教育の実現
 - 中学部における高等部の作業体験学習や高等部実習報告会参加とキャリアパスポートの活用に関する検証と改善
- (4) 児童生徒の特性に配慮した個別最適な学びの実現
 - 自閉症の特性を踏まえた学級経営や各教科等の授業のユニバーサルデザインを推進
- (5) 体罰や不適切な指導、事故や事件の根絶に向けた指導の徹底
 - 「よりよい職場に向けて」のワークショップや定期的な服務宣誓等の開催
 - 横断的な対話の強化
- (6) 関係学校及び関係機関との連携・連帯体制を図り、特色ある教育活動の充実・発展
 - 設置校との行事や特別活動による交流及び共同学習の充実、並びに離島部による分校・分教室をリモートで繋いだ新たな交流の促進
 - 地域の祭りや人材を活用したふるさと教育の推進
- (7) 就労・生活支援に向けた取組の推進
 - 保護者が早期から高等部卒業後の生活や進路について関心を高めるための取組の強化
- (8) 積極的な情報発信による、本校教育の広報及び理解・啓発の促進
 - 児童生徒の作品や学習の様子など校内掲示・展示、学校ホームページによる積極的な発信